

活用方針



VLP取組概要



■ VLP活用のねらい

- 校内別室を利用している生徒等に対して、仮想空間を活用した居場所と学習の機会を確保する。
- 多様な学びの一環として、VLP上での学習支援をとおして、自律した学習者を育成し、生涯にわたって学ぼうとする力を高め、不登校生徒の社会的自立を目指す。

■ 対象生徒・児童

- 校内別室指導推進事業実施校に在籍する生徒等

■ 運営時間

- 平日週5日間、午前8時から午後6時まで※
※各学校の別室開室時間による

■ 活用方法

- 教員や支援員、別室利用者とVLP空間でコミュニケーションを取りながら、オンライン学習教材等で学習支援を実施

活動・取組み内容



活動・取り組み内容

- 校内別室に来室して、対面で教員や支援員とのコミュニケーション
- チャット機能やリアクション機能を活用し、VLP空間内で教員や支援員との簡単なコミュニケーション
- 校内別室指導推進事業実施校の教員向けの事業説明会を実施

成果/好影響・次年度以降の方針・利用者の声

成果/好影響

- ✓ 校内別室教員向けの事業説明を行い、各学校に高等学校での活用方法等について検討していただいた。
- ✓ 令和6年度からの継続利用により小学校から不登校で、学習の遅れと共に、集団生活に不安を抱えている生徒が、VLP空間内でアバターを介してコミュニケーションを取れるようになったことで、少しずつ教室での授業に参加できるようになった。

次年度以降の方針

活用の推進に向けた取組の充実

- ✓ VLPを活用する目的を、多くの別室利用生徒が理解し、多くの生徒が活用できるように、学校間で取組事例や活用方法について情報共有を行っていく。
- ✓ 生徒や保護者のニーズを基に、VLP空間内でのイベント等を事業プロモーターと連携して実施していく。

利用者の声



- バーチャル空間で作成した自分のアバターで、簡単なリアクションやスタンプを使って、少しずつ自分の気持ちを表現できるようになった。



- 事業者からの事業説明と実際に活用事例を紹介いただいたことで、自校での活用方法について検討することができた。